

乳幼児突然死症候群(SIDS)を防ぐために

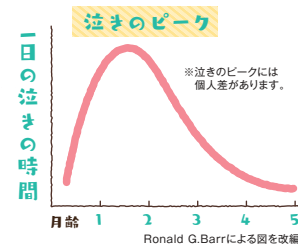
SIDSとは それまで元気だった赤ちゃんが睡眠中に何の前ぶれもなく亡になってしまう病気です。

原因はわかっていませんが、以下の3つのポイントを守ることにより、SIDSの発症を減らせることがわかっています。

- 1 寝かせる時はあおむけに寝かせましょう。
ただし、医学的な理由からうつぶせを勧められている場合は、医師の指導を守りましょう。
- 2 できるだけ母乳で育てましょう。
- 3 妊娠中や赤ちゃんの周囲では、たばこは吸ってはいけません。

赤ちゃんが泣きやまない～赤ちゃんの泣きへの理解と対処のために～

赤ちゃんは、どのような関わり方をしても生後1～2か月頃に泣きのピークを迎えることがわかっています。しかしピークを過ぎれば、泣きはだんだん収まってきます。赤ちゃんは泣くのが仕事、泣いて当たり前です。赤ちゃんがなぜ泣くのか？泣きやまないとき、どうしたらいいのか？「赤ちゃんが泣きやまない」がインターネットでご覧いただけます。



厚生労働省 赤ちゃんが泣きやまない

検索

乳幼児揺さぶられ症候群の予防

赤ちゃんの頭の中はとても脆いので激しく揺さぶると重大な後遺症が残る可能性があります。

例えば将来的に…言語障害・学習障害・歩行困難・失明そして、最悪の場合は死にいたることもあります。

※普通にあやすことは問題ありません。



母子健康手帳の上手な使い方



母子健康手帳は全国同じ様式で作られています。名古屋市から他府県へ転居した場合、新居住地でこの手帳を再び交付してもらう必要はありませんが、この手帳を新居住地の市町村役場や保健所の窓口に提示して、健康診査の受診票類などの交付を受けてください。「母と子の健康のために(母子健康手帳別冊)」には、母と子の健康管理のために、名古屋市が現在行っているいろいろな制度の受診票等が綴り込んであります。また、医療費の公費負担、名古屋市の母子保健事業など、知っておくと大変役に立つことが書いてあります。お子さんのためによく読んでください。

妊娠、出産、子育てには、悩みや不安を感じることが少なくありません。

一人で悩まないで、身近な「子育て総合相談窓口(子育て世代包括支援センター)」を利用してみませんか？専用電話での相談や面接で、保健師等がご相談に応じ、解決の糸口をいっしょに考えます。「子育て総合相談窓口(子育て世代包括支援センター)」は各区の保健センターにあります。お気軽にご相談ください。



名古屋市